

十一社協定

我等の共同聲明書

十一月二十五日、日清印刷株式會社従業員七百名は八ヶ條の要求條項を會社側に提出した。それに對する回答は異外にも左の如くである。

決 答

- 一、要求ハ絶對ニ入レズ 其理由ハ社はニ反スル故ナリ
- 一、會社現在ノ規定ニ承服ノ者ハ明二十九日午後四時迄ニ其旨會社ニ届出ツベシ 二十九日午後四時迄ニ届出ナキモノハ退社シタルモノト見做ス
- 一、諸君ハ公平ヲ欲セラル、ガ故ニ其希望ニ添ハンガ爲メ東京印刷業者全部ノ賛同ヲ得左記十一名

- 株式會社 秀英會社
- 凸版印刷株式會社
- 株式會社 博文館印刷所
- 東京印刷株式會社
- 東京印刷株式會社
- 株式會社 東京築地活版製造所
- 株式會社 三省堂印刷所
- 小島印刷株式會社
- 株式會社 精美會社
- 日清印刷株式會社

同一賃金制度ヲ布クコトニ決議シタルニ付來ル十二月一日午前十時迄ニ制定發表ス。但シ此決議發生ノ原因ハ是迄印刷業界ニ於テ頻發セル爭議ヲ根絶センガ爲ニ此舉ニ出デタルモノナリ

右の回答は最近博文館、精美堂、日本書籍、東京書籍、日本紙器、三省堂其他に於て獲得したる労働條件を潰滅せんとする陰謀に外ならぬものである。この事實を知つた日清印刷の従業員は全印刷労働者の共同利益のために、猛烈なる戦闘を續け、戦は刻々、有利に進展しつつある。

資本家の共同戦線と

我等の共同戦線

大正八年十一月印刷労働者の同盟罷工以來我々の反抗は日々強烈なるに及び、彼等は印刷同業組合なるものを組織し、今日まで我等の運動を壓迫し來たが我等はそれに屈せず猛烈に闘争を續けて來た。處が前記十一社の大資本家は今回の日清爭議を機會に、戦より完全なる共同戦線を張り「最近頻發する爭議を根絶する」目的をもつて我等に挑戦して來た。斯くの如きは明らかに我等印刷工の戦闘機關たる労働組合に對する彈壓手段であり、全印刷労働者の生命を奪はんとする強迫である。茲に於て我等は彼等の所謂十一社代表の協定による同一賃銀の率の如何に係はらず、徹底的に抗争を辭せざるものである。彼等が如何なる迫害を加ふるとも吾等は斷乎として最後まで戦ひ、以て労働階級の利害のために共同戦線を天下に聲明するものである。

全印刷労働者奮起せよ!!
全労働階級は之を應援せよ!!

一九二五年十二月一日

全國印刷工聯合加盟
東京印刷工組合
新聞労働聯盟
 日本労働組合評議會
出版労働組合